第 84 回神奈川県国土利用計画審議会 審議経過

【議題】

○ 土井会長

会議次第に従い議事を進めます。議題 1、諮問案件の神奈川県土地利用基本計画の計画書の改定案について、事務局から説明をお願いします。

○ 加藤土地水資源対策課長

前回の審議会では、土地利用基本計画の計画書の改定素案をご報告させていただき、ご意見をいただきました。

本日は、前回いただきましたご意見及び県民の皆様そして市町村からのご意見をいただきましたので、それらを踏まえて、最終案として取りまとめた計画書の改定案をご説明させていただきます。

<議題 1 について、資料 1「神奈川県土地利用基本計画の改定案について」、資料 2「神奈川県土地利用基本計画（計画書）改定案（令和 7 年 1 月）」、資料 3「新旧対照表」により事務局から説明>

○ 土井会長

ただいまの説明について、委員の皆様からご意見、ご質問がありましたらどうぞ。

（質 疑 応 答）

○ 関戸委員

県民、市町村から地域振興の観点から地域の実情に応じて、地域の利益を考慮した土地利用が必要であるとの意見があったとのことでございます。

人口減少、少子高齢化、気候変動など社会情勢が大きく変化をしている中においても、地域の人々が安心して暮らしていけるよう、持続可能という視点を意識した県土利用が求められるものというふうに考えています。

先人の方々の努力により受け継がれてきた水源地域を良好な状態で、将来世代に引き継いでいくという観点から、水源地域を保全し自然と共生した土地利用を図ることについてこの審議会等において何度か意見を述べさせていただきました。

このような観点は、水源地域に限るものではなく、県土全体にも当てはまるものと考えます。

これまで受け継いできた県土をさらに住みよく、魅力あふれる形で、いかに将来世代に

引き継いでいくかということが、今後重要になってくるものと思われます。

本県には、豊かな自然環境、歴史、文化、産業集積など、地域ごとに有するポテンシャルが様々あるわけでありますけれども、地域振興の観点から、それらを十分に発揮できるような土地利用を図り地域をより活性化していくということが、県全体の持続可能な発展につながっていくというふうにも考えます。

土地利用基本計画の改定案では、持続可能で、自然と共生した県土利用管理を目指すこととして、自然環境の保全や安全性の確保を図りつつ、地域振興の観点から必要な土地の利活用を計画的に進めることについて、バランスのとれた記載になっていると評価をしております。

この基本的な方向性を、県民や企業、市町村と共有をして、魅力ある形で県土を引き継いでいけるよう、県が広域的な役割を発揮していくよう期待をしております。以上でございます。

○ 加藤土地水資源対策課長

本日お示しいたしました土地利用基本計画の計画書の改定案では、県民の皆様ですとか、市町村からのご意見を踏まえまして、県土利用の基本方針として、地域全体の利益を実現する最適な県土利用管理を図ることを明記いたしました。

ご意見いただきましたとおり、自然との共生を図る観点から、地域の実情に応じて、保全すべき土地は保全し、地域振興のために必要な土地は活用を進めるなど、バランスのとれた土地利用が重要であると認識しております。

県といたしましては、土地利用基本計画で掲げる土地利用の基本理念や、方針に基づく県土利用の管理のあり方につきまして、県民の皆様や市町村との意識の共有を図りまして、地域全体の利益を実現する最適な県土利用管理を推進し、限りある県土を魅力ある神奈川として、将来に引き継いでいきたいと考えています。

○ 土井会長

他に質問はございませんか。それでは、質疑はこの程度にさせていただきます。

神奈川県土地利用基本計画の計画書の改定案について、委員からご意見、ご質問がありましたが、この諮問案件については異議のない旨、知事に答申することとしてよろしいでしょうか。

○ 委員一同

異議なし。

○ 土井会長

ありがとうございます。答申文につきましては私にご一任いただきたいと思います。

続きまして、議題2、諮問案件の神奈川県土地利用基本計画の計画図の変更について、事務局から説明をお願いします。

○ **加藤土地水資源対策課長**

議題2の神奈川県土地利用基本計画の計画図の変更についてご説明いたします。

<議題2について、資料4「神奈川県土地利用基本計画（計画図）の変更について」により事務局から説明。>

○ **土井会長**

ただいまの説明について、委員の皆様からご意見、ご質問ありましたらお願いします。

（質 疑 応 答）

○ **十代田委員**

農業地域が減るところは元々都市地域と重複して指定されていたということですか。

○ **事務局**

そのとおりです。但し、法律上、市街化区域と農業振興地域は重複しませんので、農業振興地域を外すこととなります。これに伴って土地利用基本計画上は、農業地域を縮小することとなります。

○ **十代田委員**

すでに市街化調整区域から市街化区域に編入されているということですか。

○ **加藤土地水資源対策課長**

いいえ、市街化区域に編入するのはこれからとなります。

○ **十代田委員**

横浜市の線引きで市街化区域に編入されると思われる、予定されているということですね。

○ **事務局**

そのとおりです。

○ **十代田委員**

土地利用基本計画を先に外しておくということですね。何となくわかりました。

○ **加藤土地水資源対策課長**

本来、開発が抑制される市街化調整区域であるにもかかわらず、既に宅地化されていることについて、疑問に思われていると思いますので、補足させていただきます。

横浜市の区域区分につきましては、区域区分制度ができた昭和40年代当時、急激な人口流入を背景とする無秩序な市街地拡大を抑制する必要等があったということで、当初、区域の設定におきましては、相当程度の既存宅地を市街化調整区域に含んで設定した経緯があります。

○ **十代田委員**

そういうことですか。わかりました。

○ **加藤土地水資源対策課長**

制度が始まる以前からの宅地ですとか、公共・公益施設など建築の許可を受けて立地をした建築物によりまして、市街化調整区域であっても既成市街地が形成されているといったような背景がございます。

○ **十代田委員**

わかりました。要するに個別開発許可が出て宅地ができていったところだということですね。

○ **芥川委員**

今の説明は、既存宅地は認められるとのことだと思いますが、建替えも認められるのですか。

○ **佐野都市計画課長**

既存宅地ということで、昭和45年の都市計画法の施行の前に建ててあったものを、建て替えるということであれば、市街化調整区域であっても、建替えは可能でございます。

○ **土井会長**

他に質問はございませんか。他にないようですので、質疑はこの程度にさせていただきます。神奈川県土地利用基本計画の計画図の変更について、委員からご意見、ご質問がりましたが、この諮問案件については、異議のない旨知事に答申することとしてよいでしょうか。

○ **委員一同**

異議なし。

○ 土井会長

ありがとうございます。答申文につきましては私にご一任いただきたいと思います。

【その他】

○ 土井会長

本日予定していた議題については以上ですが、その他ということで、委員の皆様から何かございますか。よろしいですか。それでは、事務局から連絡事項があればお願いします。

○ 大山 G L

<連絡事項の説明>

○ 土井会長

冒頭に事務局からも報告がありましたが、神奈川県国土利用計画審議会運営規程により、本日の議事録は公開されることになっています。

発言されたことにつきましては、内容を確認したい方がいらっしゃいましたら、事務局に申し出ていただければと思います。

その上で、議事録の内容については、私の方で確認させていただきたいと思いますので、ご一任いただけますでしょうか。

○ 委員一同

異議なし。

○ 土井会長

それでは、そのようにさせていただきます。議事録につきましては、本日から3週間を目途に、県のホームページに掲載する予定です。

以上をもちまして、第84回神奈川県国土利用計画審議会を閉会といたします。お忙しい中ご出席ありがとうございます。